

公益財団法人 日本クリスチャン・アカデミー機関誌

2014年1・2月号

はなしあい

題字 元総理 片山哲 筆

発行編集人

公益財団法人 日本クリスチャン・アカデミー
代表理事 小久保 正

発行所

日本クリスチャン・アカデミー
京都市左京区一乗寺竹ノ内町23
075 (711) 2147

NIPPON CHRISTIAN ACADEMY

第551号

求めなさい。そうすれば与えられる。捜しなさい。そうすれば見つかる。門をたたきなさい。そうすれば開かれる。」
マタイによる福音書七章七節

国民の大多数が反対か疑問を持つている「国家秘密保護法」がほんのわずかな議論で国会を通過した。これほどでもない時代に扉を開けたことになる。我ら宗教者は今こそ恐れずに語らなければならぬ。「戦争のできる国にする」こと大反対。「国家秘密保護法」「憲法改正」反対。「原発ゼロに」「平和の国に」の声をあげよう。

信仰をどこかで、求めないこと、探さないこと、門をたたかないこと、じつと耐えて現状に満足することのように捉えていないだろうか。与えられた状況に耐えて、それを神の御心として受容することには深い信仰の意味が含まれており、私たちに必要な姿勢である。しかし、それを臆病と怠慢と保身からの隠れ蓑にしてはいいまいか。信仰をそのように捉えたとするならば、サタンの罠にはまるこ

とになる。

何があっても迷わず、慌てず、ただ耐えることを美德のように捉えていないか。そのような人は大体そんなに困っていない人だと思ふ。

今、何が問題になっているのだろうか。キリスト教で言うならば、牧師資格の問題か。聖餐式の方法か。ここにも黙視できない問題が隠されている。

黙るな

関西運営委員
関西セミナーハウス活動センター所長代行
榎本 栄次



ることだろう。しかしそれを外部の人が聞いたらどう思うだろうか。この大変なときに、何を議論しているのか、とあきれられてしまうのではなからうか。山津波が押し寄せてきているときに、玄関先で表札を縦にするか横にするかで大げんかしているようだ。

榎本 栄次

安倍政権は「戦争ができる国にする」と張り切っている。今、私たちは黙っていい

安倍政権は「戦争ができる国にする」と張り切っている。今、私たちは黙っていいとはいけない。この流れを阻止するために、できることを求め、探し、門をたたかねばならないときだ。黙っていたら、いつの日かものが言えなくなり、闇が押し寄せてくる。求めよう。探そう。門をたたこう。必ず、求めは聞かれる。そのため小さな違いは保

留しようではないか。「ユダヤ人に対しては、ユダヤ人のようになりました。ユダヤ人を得るためです。律法に支配されている人に対しては、わたし自身はそうではないのですが、律法に支配されている人のようにになりました。律法に支配されている人を得るためです。」(コリント信徒への手紙Ⅰ、九・二〇)と言う広い心を持ちたい。

どんな小さな事にも真理に関わる本質が隠されている。その真理に通じる道筋をたどる者にとつてはその小さな事柄は無視できない。重箱の隅をつつくようなことであつてもこだわらなければならぬことはあるだろう。遺跡発掘や考古学に携わる人々の作業には、真理に通じる譲れない事実が隠されているだろう。

しかし、それが動こうとしないこと、自分の身を守ることや派閥のこだわりであつたとするならまことに悲しいことである。今我々に求められていることは、現実をしっかりと見つめ、恐ろしい歴史の流れに抵抗することではなからうか。黙らないでおこう。(日本基督教団世光教会牧師)

関西セミナーハウス活動センター

●2013年度 修学院フォーラム
 「いのち」生、老、病、死を考える」 第3回
 「死にゆく人格権」自宅で家族に看取られる死が理想なのか？」

関西学院中部基督教主事
 日本キリスト教団教師 福島 旭さん
 2013年10月26日(土)



医療は日々進歩し、人間の健康のために大きな貢献を果たしている現代、その医療の恩恵を受けるにあたり、特に私たちが「死にゆく」時にこそ得ることができる幸せについて、考えてみたい。医学の延命技術の進歩と共にこの社会の仕組みが、はたして「死にゆく」人間にとつて、その「人格権」が守られる環境が十分に整っているのだろうか。一昔前までは畳の上で死

を迎えることが日常であったが、いま、ほとんどの人が病院や施設のベッドの上で死を迎えるようになった。特に終末期であると自覚せざるをえない病気を負った者やその家族が、いかに生の集大成としての死を迎えることができるのか。環境だけではなく精神的、そしてスピリチュアルなケアを充実させていかねばならない。何よりも私たちが自分の意志で治療の方法を選択し、あらかじめ設計しておくことは責務である。キリスト教的な理解では、人間は死ではなくいのちに囲まれた存在であり、死に抗ういのちを生きている。だからこそ、「死にゆく」時は、新たな希望、感謝、喜びを獲得できるチャ



ンスでもある。そのチャンスを実現するためにも、この国特有の「和風ホスピタリティ」の形成、在宅と病院(施設)が有機的に結びついたチームケアのネットワークづくりが必要である。



謹賀新年

今年もどうぞよろしくお願ひ申し上げます。

公益財団法人日本クリスチャン・アカデミー

代表理事 小久保 正

評議員 柴橋 美穂 理事 戒能 信生
 " 土井 健司 " 島田 恒

" 中村 信博 " 中井 博雅
 " 西原 廉太 " 棟方 信彦

" 増田 琴 監事 神崎 清一
 " 横野 朝彦 " 神保 正男

(五十音順)

関東活動センター 関東運営委員長 戒能 信生
 所長代行 横野 朝彦

関西セミナーハウス活動センター
 関西運営委員長 小久保 正
 所長代行 榎本 栄次

関西セミナーハウス 経営委員長 中井 博雅
 館長 小泉 達彦

本部事務局 事務局長 黒岩 裕二
 職員一同

もみじまつり

●2013年度関西セミナーハウス

2013年11月23日(土・祝)

共催：関西セミナーハウス

連休で好天に恵まれ、もみじまつりに最も適した日和となった。

プログラムはそれぞれ豊かな内容で、参加者の多くの好評を得ることができたと思う。三席のお茶席やお琴の演奏は、紅葉の景色と相まって、来られた方の満足が感じられた。参加者から「ここは曼殊院よりいい」と言う声さえ聞かれたほどだった。

杉野榮牧師による特別展示「京都の文化と宗教交流の史跡―知られざる京都キリシタンの歴史―」と講演「京都で出会った人と文化」では、京都のキリシタンの歴史について、キリスト者でありながら知らなかったこと、信仰の原点が覚醒された。講演も展示も杉野氏御自身が歩いて調査研究されたもので、大変説得力があった。午後の「お話と音楽のひととき」(子ども図

書館の設立を考える会)では、宮沢賢治の読み聞かせと音楽は、芸術的にも完成度の高いものであり、参加者も多かった。

好天候にもかかわらず、来会者が少なかつたことは誠に残念である。しかし今年来られた方々は皆さん満足されたのではなからうか。このことを大切にしたい。



関西セミナーハウス もみじまつり寄付者ご芳名 (順不同、敬称略)

- | | |
|--------------|------------------|
| 柴橋 美穂 | 越田 宗紀 |
| 白子 宗令 | 土井 淳一郎 |
| 鳥井 清司 | cerca travel (株) |
| 新井 正治 | 喜多村 やよい |
| 税理士法人トーマツ | 飯田 ふみ子 |
| シュペネマン クラウス | 白方 誠彌 |
| 北野 宗香 | 中村泰洋園 |
| (株)藤木工務店京都支店 | 長谷川 義紘 |
| 横野 朝彦 | 野田 宗男 |
| (株)柴橋商会京都支店 | 酒井 哲雄 |
| 安住 宗住 | 高山 洋子 |
| 大下 道 | 島田 恒 |
| 佐野 千枝子 | 角 多平 |
| 斉藤 洋子 | 小林 哲夫 |
| 平林 喜博 | 社会福祉法人修光学園 |
| 八田 一郎 | 魚木 アサ |

寄付金計 204,000円

感謝をもってご報告いたします。

プログラム案内

◆**関東活動センター**

■**宗教対話プログラム**

シリーズ「今、哀しみの最前線で」
「病む人に寄り添う中で見えてきたこと」

講師：大柴 譲治さん (日本ルーテル教会武蔵野教会牧師、日本ルーテル神学校教授、賛育会チャプレン)

日時：2014 年 2 月 8 日 (土)
14:00 ~ 16:30

会場：日本キリスト教会館 6 階
フォクトルーム

参加費：1,000 円 / 学生 500 円

■**神学生交流プログラム**

「今改めて十字架の神学を考える」

講師：青野 太潮さん

校長：関田 寛雄さん

日時：2014 年 3 月 27 日 (木)
~ 29 日 (土)

会場：イエズス会無原聖母修道院・東京黙想の家

対象：各神学校から推薦を受けた学生

共催：関西セミナーハウス活動センター

◆**関西セミナーハウス 修学院きらら山荘**

■**月釜 清心会**

日時：2014 年 2 月 9 日 (日) 3 月 19 日 (日) 9:00 ~ 15:00 受付
(1、8 月を除く年 10 回)

於：関西セミナーハウス

年会費：5,000 円、臨時会費 1,000 円

■**能を楽しむタペ in 修学院きらら山荘**

解説・出演：林宗一郎さん (観世流能楽師)

会場：関西セミナーハウス

各定員：50 名

第 14 回 能『百万』

日時：2014 年 3 月 28 日 (金)
17:30 ~

能観賞料金：1,800 円 / 大学生 1,200 円 / 中学生 1,000 円

(ご宿泊の方は 1,000 円)

◆**関西セミナーハウス活動センター**

■**2013 年度修学院フォーラム**

「エネルギーを考える」

第 2 回「福島原発事故を原点に据えて、

日本と世界の歩むべき方向を探る」

講師：姜 尚中さん (聖学院大学全学教授)

上山修平さん (日本キリスト教会横浜海岸教会牧師)

日時：2014 年 1 月 12 日 (日)
16:00 ~ 13 日 (月祝) 16:00

会場：関西セミナーハウス

参加費：12,000 円 (1泊3食込) / 学生 5,000 円

■**2013 年度修学院フォーラム**

「福祉―重荷を負う人と共に」
第 2 回「前例がなければつくればいい」

講師：青野 浩美さん (声楽家)

日時：2014 年 2 月 22 日 (土)
13:30 ~ 17:30

会場：関西セミナーハウス

参加費：1,000 円 / 学生 500 円

《**終身会員募集開始のお知らせ**》

今般、日本クリスチャン・アカデミーでは、従来の賛助会員に加えて、終身会員制度を新設しました。終身会員としてのご支援をご検討いただければ幸いです。主な概要は以下の通りです。

- ・終身会員は、満 60 歳以上の個人とする。
- ・終身会員は、終身会費を納め、終身にわたり、会員とする。
- ・終身会費 一括納入 一口 100,000 円。
- ・終身会費は、財団本部に帰属するものとする。

詳しくはお問合せください。

賛助会費・後援会費・寄付金報告

2013 年 11 月 1 日 ~ 2013 年 11 月 30 日

(順不同・敬称略)

◆**関西セミナーハウス**

寄付金

株式会社祇園辻利	10,000
ジ・エアーズ 菅原直人	20,000
今野 俊介	5,000
古賀 康夫	10,000
松林 長年	5,000
細川 知義	5,000
小松崎 峰雄	5,000
山田 知之	5,000
武藤 高司	5,000
牛尾 宣夫	5,000
株式会社アイウィル	50,000

◆**関西セミナーハウス活動センター**

賛助会費

鈴木 正穂 3,000

寄付金

水野 健	420
山本 一成	10,000
柳井 繁彌	3,000
谷口 善志郎	3,000
金山 顕子	1,040
榎本 璋子	20,000

以上、感謝をもってご報告申し上げます。

◆**財団本部**

終身会費

神保 正男	100,000
神保 信子	100,000

寄付金

早稲田教会 25,000

◆**関東活動センター**

賛助会費

高橋 壮二	5,000
松岡 俊彦	5,000

寄付金

中島 健二	10,000
増田 琴	5,000
長 清子	3,000
西村 久代	6,000

神学生交流プログラム募金

小久保 正	10,000
増田 琴	5,000
島田 恒	20,000
外谷 悦夫	5,000
平野 正	10,000
学校法人聖公会神学院	50,000
斉藤 洋子	5,000
服部 千賀子	5,000

財団本部

<http://www.academy-nippon.com>

関東活動センター

<http://www.academy-tokyo.com>

関西セミナーハウス

<http://www.kansai-seminarhouse.com/>

関西セミナーハウス活動センター

<http://www.academy-kansai.org>

公益財団法人 日本クリスチャン・アカデミー

代表理事 小久保 正

本部事務局

〒606-8134 京都市左京区一乗寺竹ノ内町 23
TEL 075-711-2147
FAX 075-701-5256

関東活動センター

〒169-0051 東京都新宿区西早稲田 2-3-18
日本キリスト教会館 6 F
TEL 03-3207-6198
E-mail:info@academy-tokyo.com

関西セミナーハウス /

関西セミナーハウス活動センター

〒606-8134 京都市左京区一乗寺竹ノ内町 23
FAX 075-701-5256

関西セミナーハウス

TEL 075-711-2115

E-mail:info@academy-kansai.com

関西セミナーハウス活動センター

TEL 075-711-2117

E-mail:office@academy-kansai.org